

# 幸手の裏路地～喫茶店のあるライフサイクル～

八代 研究室  
00212172 平田 大士

喫茶店 バリアフリー 改築

## 1. はじめに

母より、自宅を改築して喫茶店を出店したい、という要望があった。一方、現状の住まいは様々な問題点を抱えていたため、母や家族を顧客と考え、自宅の増改築計画を提案することとした

## 2. 設計の背景（ユーザーの要望事項）

### 1) 母が喫茶店をやりたい理由

（ライフサイクルを含めたソフト面の思い入れ）

- 地域文化の発信地、コンサート、作品展示、障害者の作品販売、等人々の行きかう場にしたい
- コーヒーを通じた地域の情報交換の場

### 2) ハード面（店舗形態）

- 自宅にて開店し、母1人による経営とする
- テイクアウト、焙煎豆販売、座席は10席未満
- 地域密着型の店舗とし、高齢者、障害者の方々も利用可能な店舗とする

## 3. 現状の建物（別途図1参照）

敷地面積：165.29 m<sup>2</sup> 用途地域：商業地域

建物構造：木造2階建、スレート葺き

建築面積：69.56 m<sup>2</sup>、床面積：116.34 m<sup>2</sup>

家族構成：祖母、両親、姉、妹、私（6人家族）

敷地分析：東・南側-2階建住居、西側-4m公道、北側-平屋倉庫

## 4. 具体的な提案（基本設計の提案）

### 1) 具現化Ⅰ：喫茶店として提案した事

- コーヒーの自家焙煎対応：焙煎室の設置
- テイクアウト、自家焙煎豆販売：  
生豆陳列棚の設置（情報交流コーナー利用）
- 障害者、高齢者対応（車椅子利用者）：  
スロープ、段差無しのバリアフリー設計

○文化の発信地・情報交流の場としてのツール：  
液晶TV（25インチ以上）、パソコン設置

### 2) 具現化Ⅱ：現状住宅の問題点对応

- 南面に2階建のアパートが建築され、採光不足となった：南面の光の取り入れ方を工夫
- 両親の寝室が無い：兄弟姉妹の部屋を3階に移築し、現2階の部屋を両親の部屋とする

## 5. 実施設計の概要（詳細は別添図2, 3, 4, 参照）

- 1) 喫茶室：1階洋間（14畳）を改築
- 2) バリアフリー設計：西側庭にウッドデッキを配置、駐車場を撤去してスロープを配置
- 3) 2階部分を改築、3階を増築

## 6. まとめ

### 1) ユーザーの意見

○喫茶室は焙煎室、喫茶コーナー、調理室、等をコンパクトにまとめ、母1人で接客可能なレイアウトになっており、好感がもてる。

○2・3階増改築計画は家族構成の変化を考慮すると、費用負担の面で今後検討したい。

### 2) 反省（設計を通して分かった事）

○増改築工事の場合、既設建物に関する現況・構造・図面他の詳細な調査が重要である。

○設計コンセプトの決定は、新築、改築の別無く、ユーザーニーズの把握が基本となる。

○2・3階改築に関してはコスト面を考慮しなかった。今後の課題として、低コストによる改築計画についても見識を深めたい。

### 【参考文献】

楢崎雄之 図解店舗の計画と設計 オーム社  
吉田研介 現代建築学設計製図 鹿島出版会

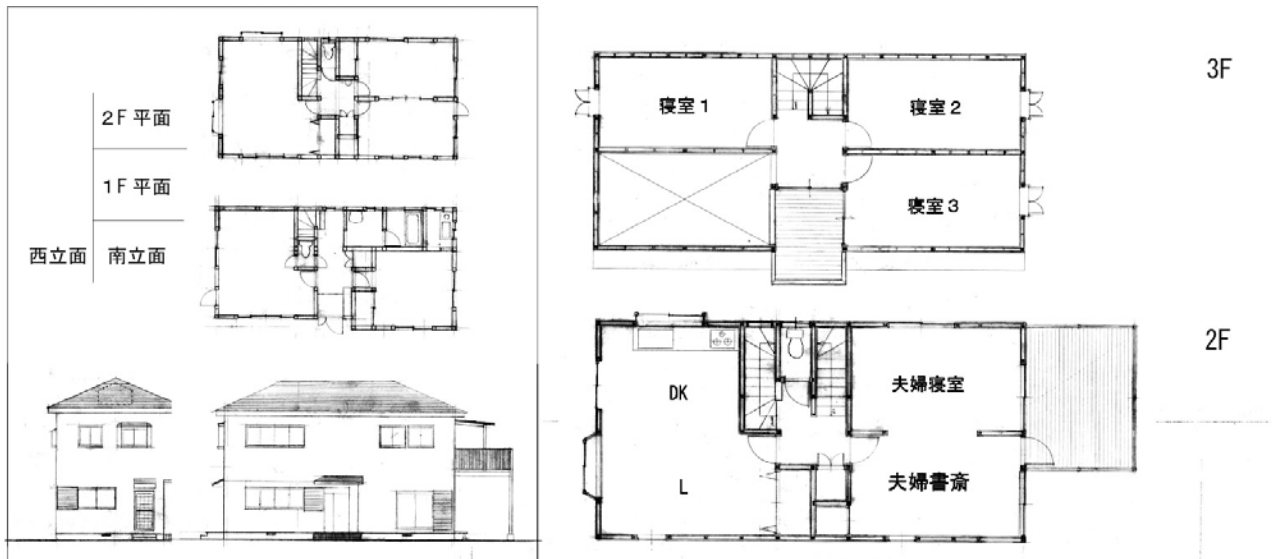


図1 改築前平立面図

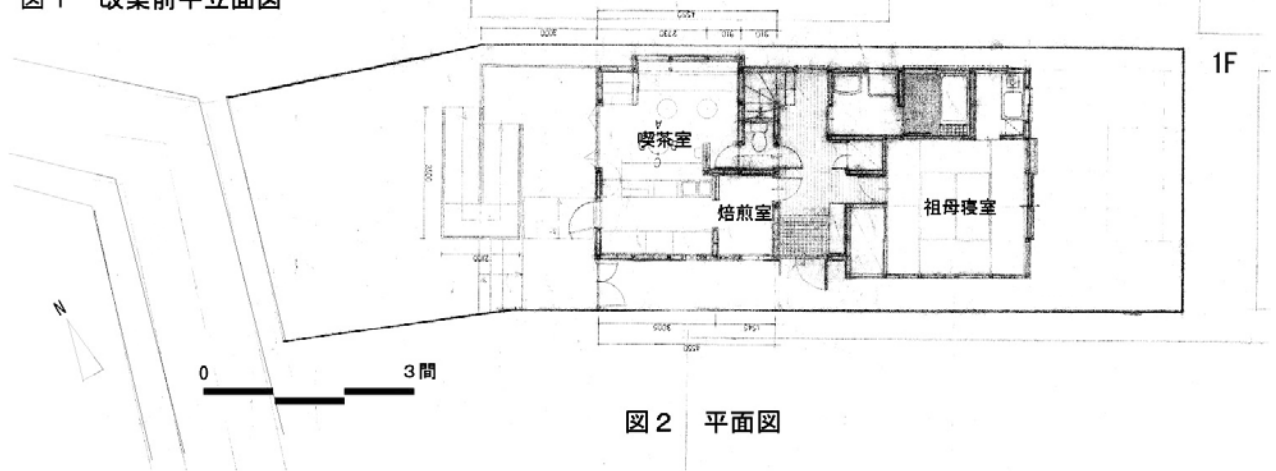


図2 平面図



図3 西・南立面図



図4 1F 喫茶店展開図